



名宝の世界へ

関連イベント

【注意事項】※新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開催します。
※発熱や体調の悪い方のご参加はご遠慮いただきます。
※会場にてご連絡先のご記入、身分証明書のご提示をお願いする場合があります。

講話 講演会 オープニングイベント

【日時】10月1日(土)13:30~15:30(開場13:00)
【場所】松山市民会館中ホール
【講師】①講話「高野山の歴史と空海の生涯」
今川 泰伸(高野山真言宗務総長)
②講演会「金剛峯寺の文化財」
大森 照龍(高野山霊宝館長)

【定員】583名
※要事前申込。参加には企画展観覧券が必要です。
※あいテレビ営業推進部(089-921-2192)、
当館電話・FAX・HP(お問い合わせフォーム)にて受け付けます。

講演会 「金剛峯寺の仏像」

【日時】10月30日(日)10:30~12:00
【講師】伊東 史朗(和歌山県立博物館長、本展監修者)
【場所】当館 講堂
【定員】60名
※参加無料。要事前申込。
※当館電話・FAX・HP(お問い合わせフォーム)にて受け付けます。

コンサート 「国宝 高野山金剛峯寺展」記念コンサート
西村直記「天空の聖地」

【日時】10月2日(日)14:00~15:15(開場13:30)
【場所】愛媛県民文化会館サブホール
【料金】前売3,000円、当日3,500円(全席指定・税込)
【出演】西村 直記(作曲家・シンセサイザー奏者)
宮本 光研(脚本)*真言宗御室派総本山仁和寺 元・教学部長
渡邊 栄子(コンテポラリーダンサー)withダンススタジオ108
谷本 祥龍(演劇)*三好圓映・木藤清明・叶宜朗(金剛湯御師歌)
永木 満(演劇)*日本空手松清連盟永木支部道場生一同

プレイバック:いよつ高島屋、ローソンチケット(Lコード:61931)、
あいテレビ(本社受付、オンラインチケット)
※チケット発売:8月5日(金)
※チケット購入者は、前売料金で展覧会観覧可(半券提示のこと)

コンサート ミュージアムコンサート

【日時】10月9日(日)14:00~15:00
【出演】岳人山(Rハ奏者、作曲家)
【場所】当館 講堂
【定員】60名
※参加無料。要事前申込。
※当館電話・FAX・HP(お問い合わせフォーム)にて受け付けます。

レクチャー 企画展レクチャーⅠ「金剛峯寺の名宝」

【日時】①仏像・工芸編 10月22日(土)
②絵画・書跡編 11月12日(土)
各日14:00~15:00
【講師】長井 健(当館専門学芸員・担当係長)
【場所】当館 講堂
【定員】60名
※参加無料。申込不要。

レクチャー 企画展レクチャーⅡ
「中世の高野山と伊予—金剛三昧院文書を中心に」

【日時】11月3日(木・祝) 14:00~15:00
【講師】土居 聡明(当館学芸課長)
【場所】当館 講堂
【定員】60名
※参加無料。申込不要。

鑑賞プログラム 対話型鑑賞プログラム

【日時】10月9日(日)、23日(日)、11月6日(日)、20日(日)
各日11:00~11:30
【ナビゲーター】当館作品ガイドボランティア
【場所】当館 研修室
【定員】20名
※参加無料。申込不要。

同時開催 「空海と四国遍路展」

◆会場:本館2階 常設展示室2 ※入場無料
◆主催:愛媛県、四国遍路日本遺産協議会
◆協賛:アトムグループ

■特別協賛: **伊予銀行** **愛媛銀行** **MiURA** 三浦工業

■協賛: HIROTSUバイオサイエンス、NIPPON EXPRESSホールディングス、フジ、トゥーコネクト、サカイ引越センター、ベルモニー、三福ホールディングス、タカラスタンダード、大正製薬、日本航空、松山三越、山崎製パン、ヒガンマル醤油、四国電力、STNet、一六本舗、ECC、イオタオーエーシステム、いよつ高島屋、門屋組、石材振興会、レクサス松山城北、ダイコク、税理士法人 越智会計事務所、アサヒビール、PORTE、JT愛媛支社、損害保険ジャパン、オールドイングランド 道後山の手ホテル

■後援: 松山市、松山市教育委員会、愛媛県市町教育委員会連合会、愛媛県小中学校校長会、(一社)四国八十八ヶ所霊場会、愛媛県仏教会、愛媛県美術会、愛媛美術教育連盟、愛媛県文化協会、(公財)愛媛県文化振興財団、(公財)松山観光コンベンション協会、伊予鉄グループ、朝日新聞松山総局、読売新聞松山支局、毎日新聞松山支局、産経新聞社、南海放送、テレビ愛媛、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛、えひめリビング新聞社

観覧料	前売券	当日券	※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料で入場できます。※満65歳以上の方は当日1400円でご入場いただけます。年齢の分かるものをご提示ください。※団体(20名以上)の方は前売料金で当日入場できます。※マチカカードとマチカアプリどちらでもご利用いただけます。※大口購入で割引があります。詳しくは事務局までお問合せください。※企画展半券で、コレクション展もご覧いただけます。
大人	1,300円	1,500円 <small>65歳以上1,400円</small>	
高大生	700円	900円	
小中生	500円	700円	

【前売券販売所】愛媛県美術館(本館ミュージアムショップ、南館ふれあいアートセンター)、あいテレビ(本社受付、オンラインチケット)、愛媛新聞旅行(平日9:00~17:30、土曜9:00~14:00)、いよつ高島屋、四国内アジダラン各店舗、明屋書店県内各店(一部店舗除く)、Aコープ西日本(いよつ高島屋、ハートマート山越、ハートマート北条、とべ、城南)、ローソンチケット(Lコード:62361)、チケットぴあ(Pコード686-136)、CNプレイガイド、ファミリーマート、セブンイレブン、チケット愛媛、伊予鉄道主要各駅 ほか【取り寄せ】愛媛新聞社内支社・エリアサービス・四国中央テレビ

前売券販売期間:7月30日(土)~9月30日(金)

あいテレビ

愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL:089-932-0010 FAX:089-932-0511 <https://www.ehime-art.jp/>

【交通案内】
※駐車場は、尾形西駐車場(2時間無料)を利用できますが、駐車台数が限られますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
○JR松山駅前より道後温泉または市駅前行き市内電車で7分、「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩1分。
○松山観光港よりリムジンバスで26分、「松山駅前」下車、徒歩5分。
○松山インターチェンジより車で20分。
○松山空港よりリムジンバスで24分、「松山駅前」下車、徒歩5分、路線バスで30分。「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩1分。
お問い合わせ:「国宝 高野山金剛峯寺展」実行委員会事務局(あいテレビ営業推進部)TEL:089-921-2192(平日9:00~17:30)
新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のため、イベント等の中止・変更や、やむを得ず展示室への入場制限を行う場合がありますのでご了承ください。

弘法大師空海誕生一二五〇年記念 あいテレビ開局三〇周年記念

National Treasures Koyasan Kongobuji: Kukai/Unkei and Kaikei

国宝高野山

金剛峯寺展

空海ゆかりの名宝と運慶・快慶

天空の聖地から、愛媛へ。

2022年 **10月1日(土)~11月20日(日)**

開館時間 9:40-18:00(入場は17:30まで) 本館1F企画展示室・2F常設展示室1
休館日:10月4日(火)、11日(火)、17日(月)、24日(月)、31日(月)、11月8日(火)、14日(月)
※作品保存のため、会期中、一部作品の展示替を行います。

■主 催:「国宝 高野山金剛峯寺展」実行委員会(愛媛県、あいテレビ)

■特別協力:高野山真言宗総本山金剛峯寺、(公財)高野山文化財保存会

■共 催:愛媛新聞社

■監 修:伊東史朗(和歌山県立博物館長)

であつつながるひろがる—アートの宝石箱—

愛媛県美術館

【愛媛県美術館】
国宝《法華三尊》(8世紀)
国宝《空海筆(群像)》のうち上巻(部分) 平安時代(8-9世紀)
《良入八祖像のうち 弘法大師像》(部分)室町時代(15世紀)
国宝 源朝作《八太子子像》のうち 光光太子像 鎌倉時代(12世紀)
すべて金剛峯寺蔵



重要文化財 快慶作
《四天王立像》のうち

広目天像(部分)
鎌倉時代(12-13世紀)

快慶の無位時代(建仁3年(1213)以前)の作。特に快慶自身の銘が刻まれた広目天像は軽快さと安定感を両立した動態表現が見事。
※《四天王立像》は、持国天像、広目天像の2軀を展示



国宝『宝簡集』巻第六のうち

《北条義時請文》鎌倉時代貞応3年(1224)か
※展示期間:10/15(土)~11/6(日)
『宝簡集』は、高野山に伝わる特に重要な古文書を巻物や冊子に仕立てたもの。本展では、2022年大河ドラマの主人公・北条義時や、伊予にまつわる貴重な古文書を展示。

「山の正倉院」とも言われます。
本展を通して、空海の精神と壮大な高野山の歴史に育まれたわが国の文化の精髓に触れていただければ何よりです。また、高野山と伊予とのつながりを示す資料も併せてご紹介いたします。

来る令和5年(2023)は、弘法大師空海(774~835)のご誕生1250年という大きな節目にあたります。本展はこれを記念し、空海が開いた高野山金剛峯寺の名宝約40件(うち国宝5件、重要文化財25件)を選び紹介するものです。唐へ渡り、密教の正統を受け継いだ空海は、弘仁7年(816)、密教の奥義を究める修行の道場として、嵯峨天皇より勅許を得て高野山を開きました。承和2年(835)に奥之院において入定し、今なおこの地で衆生の救済のために祈りを捧げていると信じられています。
開創以来の1200年の歴史の中で、高野山は真言密教の聖地として、また空海を慕う人々の憧れの地として、時代や宗派を超えた信仰を集めてきました。皇族や貴族、また有力大名ら時の権力者が、当時の最高の技術をもって制作させた仏像、仏画、工芸品などを寄進し、その結果、わが国でも最大規模にして最高水準の仏教美術の宝庫が形成され、歴史的・文化的に世界に誇る数々の文化財が今日まで大切に守り伝えられてきたことから「山の正倉院」とも言われます。



国宝 運慶作
《八大童子立像》のうち
烏俱婆識童子像(部分)
鎌倉時代(12世紀)

写実的な作風で従来の様式を一新した天才仏師・運慶の代表作。動きのある姿勢や、童子らしい活発な表情など、優れた技量と巧みな創意が尽くされている。
※《八大童子立像》は、恵光童子像、烏俱婆識童子像の2軀を展示



重要文化財《大日如来坐像》
平安時代仁和3年(887)

高野山にのこる最古の仏像。空海の甥といわれ、空海入定後に高野山の経営にあたった真然が建立した西塔に安置されていた。



重要文化財《四天王独結鈴》
唐時代(8世紀)

行者が携えることで、内なる煩惱を打ち砕き、修法の場を浄化する金剛鈴。尖鋭な切っ先(独結鈴)を把とし、鈴身には四天王像が配される装飾性豊かな優品。

天空の聖地 高野山の 名宝を一挙公開



国宝《諸尊仏龕》唐時代(7-8世紀)

真言密教の正統な後継者であることの証として、空海が唐から持ち帰ったものと伝わる白檀製の仏龕。空海が片時も離さなかったことから「枕本尊」の呼称がある。



国宝 空海筆《聲誓指帰》のうち 上巻(部分) 平安時代(8-9世紀)

※展示期間:10/1(土)~14(金)、11/7(月)~20(日) 左記以外の期間は複製を展示
空海が24歳の時に著した全長10メートルに及ぶ「出家宣言書」。力強い書体に、若き空海の高邁な決意がみぎざつている。(風信帖)(灌頂歴名)と並び空海真筆の名品。



重要文化財《高野大師行状図画》のうち 巻第四(部分)

鎌倉時代(14世紀)地藏院蔵 ※展示期間:10/1(土)~23(日)
空海の誕生から入定までの生涯と数々の事績を絵画化した絵巻。空海が唐から授けた三結鈴が高野山の松に掛かっているのを見つけ、伽藍建立を決意する場面。



《伝 河野通直(弾正少弼)像》(部分)

江戸時代 天明4年(1784)写
高野山 別格本山 金剛三昧院蔵
戦国時代末期の伊予国守護河野家が宿坊とした上蔵院に伝来した史料のうちの一つ。河野通直(?-1572)の肖像画と伝わる。要媛では95年ぶりの公開。



国宝 定智筆《善女龍王像》

平安時代 久安元年(1145)
※展示期間:10/1(土)~23(日)
空海が宮中の神泉苑において雨乞いの修法を行った際に現れた善女龍王を描いたものと伝わる。平安時代の仏画で作者が判明する作例として極めて貴重。

※表記がないものはすべて金剛峯寺蔵